

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

第20回会議 議事録

会議日	令和7年7月31日	会議時間	18:00	～	19:30
-----	-----------	------	-------	---	-------

出席者	合計 25 名	(うち委員 13名、事務局 7名、設計業者 5名)
-----	---------	---------------------------

案件

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1 委嘱状の交付 | |
| 2 開会 | |
| 3 案件 | |
| (1) 児童との対話の会実施の報告 | 【資料1】児童との対話の会記録簿 |
| (2) 実施設計外構計画について | 【資料2】外構計画について |
| (3) 今後のスケジュールについて | 【資料3】今後のスケジュールについて（令和7年度） |
| 4 閉会 | |

議 事

【委嘱状交付】

[教育長]/今年度の新任委員に対し、教育長より委嘱状を交付。

【開会】

[事務局]/開会の挨拶。委員長は本会議中に選出されるため、決定までの間は事務局が進行を行う。

委員長への立候補・推薦がなかったため、事務局案として野辺地小学校の坂本和康校長が推薦された。委員からの同意の声があり坂本校長が委員長として選出された。

教育長から委員長へ諮問書が手渡された。

[教育長]/挨拶

「皆様、第20回野辺地町統合小学校新築事業検討委員会にご出席いただきましてありがとうございます。昨年度の第19回検討委員会で基本設計について答申をいただきました。今回、人事異動等で新たに委員となられた方々には、その基本設計を踏まえた上で、今年度は実施設計としてより具体的な部分にご意見をいただくことになっておりますので、何卒よろしくお願いいたします。」

先日、野辺地・若葉両小学校の統合小学校に入る予定の現3年生に、基本設計の主だったところを示し、意見を求める対話の会が開かれたと聞いております。子供たちは歓声をあげながら聞いていたようで、とても楽しみにしているのだなと思っております。新校舎を使う立場の子供たちの意見もいただきまして、それらを参考にもしながら今後、検討していくことになります。

今年度は5回の検討委員会の開催を予定しております。それと並行して実施設計業務を進めていただき、年度内に設計業務の完了と国庫補助金の申請の手続きを行います。順調にいけば来年度のはじめに工事を発注できる見込みであります。簡単ではありますが以上ご挨拶とさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。」

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

第20回会議 議事録

[事務局]/進行を事務局から委員長に引継ぎをし、以降の進行は委員長が務めた。

[委員長]/挨拶

「皆さんこんばんは。今年度より野辺地小に赴任しました、坂本と申します。まだ野辺地に来て間もない状態ではありますが、町のホームページにある本検討委員会の資料や議事録等を拝見させていただきました。第一回の検討委員会が2年前の令和5年7月13日に行われており、そこから19回もの会議を重ねて本日の委員会を迎えているということで、私自身その中に新たに加わったものとして、微力ながら精一杯新しい学校がよりよい学校になるよう努めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。」

案件（１）、（２）

[委員長]

「それでは案件に入りたいと思います。本日の案件は3件となっております。案件（１）、（２）について石川設計様のほうからご説明いただき、そのあと協議に移りたいと思います。石川設計様お願いいたします。」

[石川設計]/資料１説明、当日撮影した対話の会の動画で児童たちの反応など確認。

●基本設計図、イメージ図をもとに新校舎の計画を説明し、児童と意見交換を行った。

・大階段廻り、陽だまりラウンジと教室前廊下に本棚を置くイメージ、階段下のこもれるスペースについて説明。

→児童の多くが本が好きと言っており、とても良い反応だった。

・普通教室間仕切りの開放性と教室と廊下（多目的）スペースについての関係性、廊下天井の現しについて説明。

→広く開けられる教室の間仕切りは良い反応であった。

・男子小便器の仕切り板の有無について説明。

→若葉小では過半数が仕切り板が欲しいと回答。

→野辺地小では過半数が有り無しどちらでもよいという回答。

・既存樹木の活用案について、設計側から活用案の事例を提示し意見を伺った。

→児童から、図工の材料、ベンチ、イス、棚、本棚、サイン（室名表示等）、手すり、掲示板、鉛筆、踏み台、大時計、時間割、壁、床、階段、掃除用具入れ等の案が出た。

・外壁材についてサンプルを持ち込み、スライドを提示し説明のみに留めた。ガラスブロック案についても説明した。

・遊具について設計側からブランコ、雲梯、鉄棒、ジャングルジムの設置を考えていることを提示し、意見を伺った。

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

第20回会議 議事録

→児童からは上記に加え、ボルダリング、ターザンロープ、タイヤ、シーソー、ばね付き遊具、橋のような遊具、木登りなどの案が出た。

・その他として、木の本棚に入りたい、プレイフィールドに池が欲しいとの感想もあった。

●当日の様子を動画で確認

盛り上がっている様子、歓声が上がる様子などを確認。意見を求め、児童が答えている様子などを確認。

[石川設計]/資料2 説明

・資料2－1で基本設計での外構計画のまとめの説明。

・資料2－2で冬場の雪が解けた後の現地調査を踏まえ、再検討した外構設計方針を説明。

①西側プレイフィールド芝生の北・西・南面を囲むネットフェンスは設けず、法肩ライン（メインアプローチ先の門扉フェンス）に沿って配置。

②、③、④学校敷地として敷地境界線までプレイフィールド・駐車場・芝生等のいずれかにする。杉は伐採伐根する。

⑤境界際ブロック塀は存置、塀に接する土はすきとり、芝生法面造成とフェンス設置。

⑥北側道路沿いの桜は伐採伐根し、法面を平らにしながら児童館にすり付かせる。

⑦北門の位置は道路の関係からこの位置。

⑧樹木園を一部保存できる計画とする。冬は排雪場にできるようにし、切った樹木を何かに活用できればする計画。

⑨、⑩愛宕公園とグラウンドの間のフェンスは法肩に設置とする。愛宕公園に通じる階段前は扉を設ける。

⑪屋外倉庫位置は資料2－2グラウンド南面、2－3南西面の配置を案として次回以降扱う。

⑫グラウンド管理通路は、現状の南側道路面からの出入りとし、ネットフェンス及び防球ネットの下部をメントラックが通過できるよう扉を設ける。防球ネットは高さ6mとし、民家のある南側と愛宕公園側に設置の計画。しかし、公園側には設置しない案もありえるか本日確認したい。

⑬グラウンド西側の防風林は残せるものは残す。高すぎる樹木は上半分程度切る。

⑭、⑮グラウンド南側のスペースは確保すべく、南側の花壇農園は設けない。花壇農園はメインアプローチ脇に移動の計画。

⑯南側道路の法面は擁壁を設けるなどはせず現状のままとし、防球ネット設置に支障ある樹木は伐採する。

⑰学校ブロック塀は存置し境界線とする。

⑱学校南側の方面から登校する児童用歩道は、南側道路からの出入りとし、南北の歩道はそのままとするが、東西の歩道は中止とする。

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

第20回会議 議事録

⑨メインアプローチのスロープは直線ではなく折り返し案を提示。元々の法面内でのコンパクトな造成工事計画となり、花壇やプレイフィールドの行き来がしやすい。

[委員長]

「ご説明ありがとうございました。映像でもあったように、子供たちからの反応は思った以上に大きかったです。私も野辺地小の対話の会には顔を出しまして、女子児童たちのトイレが洋式トイレになるというのを聞いてすごく喜んでいたことが印象的でした。新しい学校への期待を感じる内容であったと思います。今の説明について質問や確認などはございますでしょうか。」

[委員]

「バスが待機しているところに子供たちが直行するため、バス待ちエリアはなくてもよいのでは。」

[石川設計]

「長い目で運用を考えると、雨や雪をしのげるエリアがあったほうがよいとの考えて設置を計画いたしました。」

[委員]

「公園側のフェンスを法肩に設置する計画とのことでしたが、そうなるとフェンス高さはどうなるのでしょうか。」

[石川設計]

「1.8mでの計画ではありますが、絶対にその高さでなければならないというわけではありません。安全性や景観などを考え検討いたします。」

[委員長]

「ご意見ありがとうございます。ほかに質問等ない様子ですので、石川設計様の方から今一度内容を整理していただき、その後協議に入っていきたいと思います。それではよろしくお願いします。」

[石川設計]/協議内容説明

[委員長]

「ありがとうございます。協議する内容は大きく4点、「男子小便器の仕切り板の有無」「既存樹木の活用案」「設置する遊具」「防球ネットの範囲を含めた外構見直し案」について各グループでご意見を出していただき、その後共有をしたいと思います。それではよろしくお願いいたします。」

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

第20回会議 議事録

[グループ協議]

グループA協議内容

・男子トイレ仕切り板について、恥ずかしさなどもありあったほうがよいのではという意見があった。トイレ内に仕切りがある場所とない場所を半々くらいに設けるのはどうかという意見が出た。

・既存樹木の活用について、卒業記念の制作の材料等に使えないかや、コースターにするよう素材を渡し、好きな模様を入れたりなどの意見が出た。現4, 5, 6年生はちょっとの年の差で新校舎に入れないので、そういった児童たちに記念品として配布できるようなものがないのではという意見も出た。

・遊具について、鉄棒、雲梯、ブランコ、滑り台などがあればよく、体力づくりのためになるようなちょっとしたものがあればよさそう。

・外構については話が途中でしたが、防球ネットについてはあったほうがよいだろう、高さや範囲については決めきれなかった。

・その他としてメインアプローチ脇の花壇農園について、花壇はいいが、農園は避けた方が良く、また水やりの水場等の検討は必要になるとの意見が出た。

・児童対話の会に出て、子供たちの反応がとてもよく、目がキラキラしていたのが印象的であった。入る現3年生が6年生として入るときに校舎に負けない素敵な生徒になってほしいとの話を児童とした。また今使っている古い校舎も大切に扱ってほしいとの話をし、子供たちの心の準備もしていかなければと感じた。

グループB協議内容

・男子トイレ仕切り板について、低学年の児童が使うことも考えるとトイレを上手に使用しない子供もいることが考えられるので、見られやすい形よりも仕切りがある方がいいのではという意見があった。プライベートゾーンが必要という考えもあるし、最近では男子トイレ、女子トイレというくくりではなく誰でも使えるトイレという考え方もある。小さい子供が専用で使えるトイレがあってもよいのではという意見も出た。

・樹木活用案について、ベンチ、本棚あたりがよいのではという意見が出た。

・遊具についてはブランコ、鉄棒、ジャングルジム、滑り台あたりがあるといい。また、一部意見として、ブランコは子供たちに大人気の遊具なので、ブランコをたくさん用意して楽しませ、他の学校に自分の学校を自慢できるようなものにするなどもあった。

・防球ネットについて、近隣に住居があると低いより高いほうがいい。愛宕公園側のネットについては、景観や、運動会の時に見学している人にとっては高くないほうがよいのではという意見が出た。

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

第20回会議 議事録

グループC協議内容

- ・男子トイレの仕切りはいらない。あると掃除場所が増える、壊れた時のメンテナンス代、公衆トイレにない。が理由である。
- ・既存樹木の活用案について、決めきれないので児童に活用案を公募して決めていくのはどうだろうという意見が出た。
- ・遊具について、ブランコ、鉄棒、雲梯など授業や体力向上に使うもので、必要最小限なものでいいのではないか。さらに言えば遊具は愛宕公園にたくさんあるので、そちらを利用してもらって、管理上遊具は少なくした方がけがなどのリスクがなくてよい。
- ・防球ネットについて、愛宕公園側の駐車場に車が停まっていることもあり、公園側にもある程度の高さと長さのネットが必要である。運動会時の話も少し出たが、野辺地小の現在の方針としては、そちらを駐車場として認めておらず、公園に駐車しないでくださいとアナウンスしている。
- ・グラウンドの100mトラックが校舎に近く、運動会の本部設置のスペースを考えると、もう少し校舎から離れた方がよい。

[委員長]

「皆様、ご意見ありがとうございました。それでは次の案件に進みたいと思います。」

案件（3）

[委員長]

「次は案件（3）今後のスケジュールについての説明です。事務局の方から説明をお願いします。」

[事務局]/資料3をもとに今後のスケジュールの説明

[委員長]

「説明ありがとうございます。今の説明について、質問や確認はございますでしょうか。」

委員から質問等なし

[委員長]

「特に質問等ないので、本日のすべての案件を終了とさせていただきます。進行を事務局にお返しします。」

[事務局]

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

第20回会議 議事録

「皆様、長時間に渡り、検討していただきましてありがとうございました。次回の委員会は8月21日～29日の予定となっており、日程が決まり次第皆様にお知らせいたします。本年が当委員会の最終年でありまして、今年度に全5回を予定しております。子供たちのためによりよい学校をともに作っていきたいと思いますので、何卒よろしくお願いいたします。それでは以上を持ちまして第20回野辺地町統合小学校新築事業検討委員会を終了いたします。お疲れ様でした。」